

平成 30 年度 教育事業 教員免許状更新講習

「教科指導・学級経営に生かす体験活動」

1 趣 旨

教員が学習指導要領の改訂で示された児童生徒の「体験活動」の必要性について一層の理解を深めるとともに、活動プログラムの実習を通して「体験活動」の充実に資する。

2 ねらい

- (1) 学習指導要領で示されている体験活動の必要性について理解を深める。
- (2) 実習を行うことにより、体験活動の指導力を高める。
- (3) 体験活動を行う上でのリスクマネジメント、危機管理能力を高める。

3 日 程

- (1) 期 日 平成 30 年 8 月 17 日 (金)・18 日 (土)・19 日 (日) 2泊3日
- (2) 参加者 35名
- (3) 対 象 小・中・高校免許状更新講習対象者

8月17日 (金)	午前	○受付 ○開講式：所長挨拶 ○講義「学習指導要領と体験活動」 講師：金沢星稜大学 教授 井上好人 ○演習「体験学習法の体験①」 講師：交流の家 次長 ・体験学習法とは・体験学習法エクササイズ他
	午後	○演習「体験学習法の体験②」 講師：交流の家 次長 ・体験学習法（新聞紙タワー、謎の宝島） ○講義「体験活動の教育的意義」 講師：金沢星稜大学 教授 池田幸應
8月18日 (土)	午前	○実習「体験活動の実際①」 講師：交流の家 企画指導専門職 ・火起こし体験・野外炊飯（カレーライス作り）
	午後	○実習「体験活動の実際②」 講師：交流の家 企画指導専門職 ・いかだ体験
8月19日 (日)	午前	○実習「体験活動の実際③」 講師：交流の家 企画指導専門職 ・ポイントオリエンテーリング
	午後	○講義「体験活動と安全管理」 講師：金沢星稜大学 教授 清水和久 ○履修認定試験 ○閉講式 次長挨拶

4 成果と課題

- (1) アンケートによる事業評価

教育事業アンケートの満足度（「満足」と「やや満足」の評価割合）は、事業全体、プログラム、事業運営、職員の指導・助言や対応の4項目全てにおいて100%であった。

- 【事業全体の満足度】 満足：97.1%、やや満足：2.9%
- 【プログラム（講義・活動）の満足度】 満足：100.0%
- 【事業運営の満足度】 満足：97.1%、やや満足：2.9%
- 【職員の指導・助言・対応の満足度】 満足：97.1%、やや満足：2.9%

<参加者の記述より>

- 講義と活動がリンクしていて、現場に戻って多くのことを生かせると思った。

- 安全管理や準備の大切さ。いろいろなことを想定しておくことが事故やトラブルを未然に防ぐということを体感できた。
- まず、大人が楽しむこと。大人が楽しさを知っていることで子どもへの伝え方、活動のさせ方が大きく変わってくると思うから。
- これまでは引率者として子供たちを楽しませる立場であったが、実際に活動し、友達と協力して成し遂げる心地よさを自分も味わうことができた。
- この講習をとおして、県内各地の様々な先生とつながれたことが一番印象に残った。活動をとおして仲良くなっていった。子どももこんな感じなのかと思った。
- 初日の感じ（ドキドキ）が、3日も経てば、もう終わってしまうのかという喪失感に変わったことこそが、この体験活動が充実していたということそのものだと思います。
- 講義2時間で休憩なしは長いと感じた。間に5分ほど休憩がほしかった。

(2) 成果と課題

《成 果》

- ・ 大学教授と交流の家職員それぞれの専門性を生かした講義・演習・実習をとおして、自然体験活動の指導者としての必要な知識や技能を習得することができた。
- ・ 体験活動のリスクマネジメント、危機管理の重要性を学び、今後の指導に生かすことができると実感した。
- ・ 異年齢、異校種の参加者が、チームを構成した講習・実習を通して、交流・情報交換したことで新たなネットワークができ、今後の教育活動に生きると実感した。
- ・ 先生方が体験活動をする側（子供の立場）になることが重要であることを再認識し、体験活動の重要性を実感できた。

《課 題》

- ・ 昨年度、申込開始時期が他の講座より遅く、定員に達しなかったため、今年度の申込開始時期を3月下旬とした。結果、申込開始後数時間で定員に達したが、「平日の9時申込開始だと、授業中で申し込みにくい」「年度末で、ばたばたする」との意見があった。この点について、検討する必要がある。
- ・ 宿泊する参加者が6名で、少なかった。泊を伴うことで、参加者同士の交流が一層深まり、より多くの有意義な情報交換ができると考える。宿泊した参加者の様子を聞いた他の参加者からも、「宿泊をしたらよかった」との声があった。次年度の広報の方法を工夫する。
- ・ 金沢星稜大学教授の講義は、全て2時間通しで実施した。途中で休憩を入れることが可能か検討する。



講義「学習指導要領と体験活動」



講義「体験活動の教育的意義」



講義「体験活動と安全管理」



演習「体験学習法の体験②」



演習「体験活動の実際①」野外炊飯



演習「体験活動の実際②」いかだ体